

【ハンドル名】本革

【パートナーが仆】親父かもしれない

【練習期間】一ヶ月くらい

【離脱頻度】2回目だけど1回目は数秒だったので実質2回目

【離脱方法】普通に寝落ちして、夢見てる

嫌な夢や怖い夢を見てる時って妙に意識が冴えてるから俺はいつも「こんなこと渡辺であるはずがない！」って念じて起きようとするんだけど、それを応用してやったら耳鳴りと金縛り来てイメージ法ですんなり出来た

【集中時間】ほぼなし

【滞在期間】3~5分? 渡辺では夢を見てた時間含め2時間

【禁則事項】なし

【主な挑戦の時間帯】夕方

【離脱前後の状態】

[精神面]前:ちょっと昼寝するか 後:すげー! 離脱できたー!

[肉体面]前:疲れてる 後:体がふわふわしてうまく動かせない

【双子】なし

【プロフィール】

[性別]男

[年代]高校生

【備考】

離脱後壁を触りながら部屋を出る

下のリビングに降りると母、父、近くにすむ親戚の3人がいたいつも朝に犬の散歩ついでに来るので、何かリアルだなーと思ってた

1階に降り、玄関ドアを開けたら早朝、雨が降ってて向かいの家のほうで民族楽器みたいな太鼓を構えた近所の家の人3人いた玄関開けた時にジロって見られて「あれ?これ渡辺かな?」って錯覚したパンツ1丁だったし見られて当然かなと。

離脱できてなかったか...と思いトボトボ自室に戻ったら

俺の布団の下でハードゲイみたいな光沢を放つパッチを吐いた親父が汗だくになってた俺の視線に気づいた瞬間しどろもどろになってたのでオニーでもしてたかと思って悲しいのと怒りで色々説教してた渡辺に帰還

・ 反省点

何で鏡見てパートナーの確認しなかったんだ俺....